

6月から  
大津菊陽水道事業団で  
導入開始

衛星測位システムみちびきを  
活用し、誤差3m以内という  
高精度な位置測量を実現した  
KISの水道メーターナビ  
ゲーションシステム。検針業  
務の飛躍的な効率化と、水道  
事業者の働き方を大きく変え  
る文字通り「水道DX」と呼ぶ  
にふさわしいシステムだ。6月  
から大津菊陽水道事業団で  
の導入開始が決定している。



写真 イラストはイメージです

DXで、社会・経済に変革を起こす地元企業の取り組みを紹介します。DXがビジネスを変える

# Meeting Innovation

vol.01 株式会社KIS

## 組織のあたりまえを見直すことが、DXの第一歩に

準天頂衛星を使い、水道メーターの位置情報を常に更新し検針業務の飛躍的な効率化と省力化を実現した「水道ナビゲーションシステム」。電子カルテシステムの内容を大画面表示することで、情報共有、現場スタッフのコミュニケーション促進と効率的なタスク管理を目的とした病棟看護師支援システム( Nurse Board)。今回は、今回(株)KIS(熊本市南区幸田1丁目、平木実社長)から、この二つのソリューション開発の担当者にご登場頂きました。

「これまでやれてきた」が問題解決の壁に  
——水道メーターナビゲーションシステムの開発にあたり、業界ではどんな問題が

西村 住宅や事業所にある水道メーターのほとんどが目立たないところがあり、日頃検針にあたっては検針員さん以外は見つけることが難しく、担当の検

針員さんが休まれると、代行の方がメーターの設置場所がややふやな中で検針作業を行うので、普段の何倍もの手間と時間がかかっています。さらに水道メーターは8年毎に新しいメーターへの取り替えが法律で義務付けられているので、それを施工する業者さんもメーターの位置を確認するのに、大変苦労されています。

現場ではこの状況をどう受け止めていたのですか  
西村 検針員さんのほとんどは、「これが仕事なので」という認識でした。確かに問題だと感じていた方もいましたが、「どうにもならないことだ」と受け入れ、課題として認識されていませんでした。大変だとは思いつつもなんとか今までやれてきたという事実が問題解決を阻んできたのではと感じています。

水道事業の広域化に対応  
——システムを導入することで解決できることは  
西村 準天頂衛星「みちびき」を活用し、水道メーターの位置を1.5メートルの精度で特定できるので、検針業務が初めての

で発展性を備えたシステムとして作り上げました。  
——看護師さんの反応は  
馬場 「共有したい情報をいちいち紙に印刷して貼らなくていい」「更新された情報を見逃さずに済むのでとても助かる」「急いでいるときや簡単なメモ程度なら手書き機能を使ってさっとモニターに直接書いてとても便利といった前向きなご意見を頂きました。意外だったのが、「こんな使い方が便利かな。こんな使い方も試してみたい」といった声が次々に看護師さんから上がってきたことです。

多くの企業がDX化に難しさを感じています。DX化を進める上で大事なことは何でしょうか  
木戸 現状から課題を見つけることができているというの大きな理由だと思っています。毎日やっている仕事は、大変だと思いつつもそれは当たり前のことだと感じやすいため、問題視されにくいですね。組織の中の「当たり前」を改めて見直すことが、DXの第一歩だと思います。

看護師さん専用で大画面表示することがその解決策ということですね  
馬場 はい。実は医療現場では今でもホワイトボードが活躍していることを知り、それがヒントになり大画面モニターを使ったこのシステムが誕生しました。電子カルテシステムから必要な情報を大画面に分割表示させたり、申し送り事項があればタッチペンでモニターに手書きしたりと、必要に応じて柔軟に使い方を工夫できる、アナログならではの優れた点を取り入れ、柔軟



ITソリューション事業本部 公共・クラウドソリューション事業部 公共クラウド営業部 担当 馬場 至さん  
ITソリューション事業本部 公共・クラウドソリューション事業部 公共医療ソリューション部 富安 俊亮 主任

共有したい情報は  
大画面モニターで表示

ナースボードはデジタルにアナログの使いやすさを取り入れ、病棟看護業務の見える化と、効率化を実現したシステム。必要な情報は画面で一覧表示。忙しい看護師さんを、面倒なパソコン操作から解放してくれる。



ナースボード使用イメージ



ITソリューション事業本部 公共・クラウドソリューション事業部 木戸 竜一 事業部長

大事なことは、デジタル化するだけでなく、新たな視点や気付きが加わることで、仕事の仕組みが変化していくことです。働き方が変わることにつながるシステムづくりがDXには必要だと思っています。今回開発したソリューションもその一つであり、今後もさらなる進化を続けてまいります。



ITソリューション事業本部 公共・クラウドソリューション事業部 水道ソリューション部 西村 泰徳 部長

内閣府の公式サイトにもインフラ分野での代表的な活用事例の一つとして紹介されています。

続いてナースボードについてお尋ねします。開発のきっかけは  
富安 病棟勤務の看護師さんは電子カルテシステムに沿って仕事をこなすことから、パソコンの操作や確認に煩わしさを感じています。さらにリーダー看護師さんは、医療事故防止のため様々なことに気を配る必要があります。例えば「医師からの指示や連絡を見落とさないこと等、心理的負担も高い環境下にあります。そうした状況をどうしたら改善できるだろうか」というのが開発のきっかけです。

開発する上で重視した点は  
富安 パソコンの操作時間を極

お話を伺った企業

## 株式会社KIS

本社:〒861-4108 熊本市南区幸田1丁目6番27号 TEL:096-379-2231  
KISラボ:〒861-4108 熊本市南区幸田1丁目4番7号 TEL:096-379-4888

【事業内容】  
・コンサルティングサービス ・システム構築サービス  
・システム及びソフトウェアの設計/開発/保守ほか

【売上高】44億円(2022年3月期) 【従業員】293名(2023年4月1日現在)

<https://www.kis.co.jp>

Check! 今回紹介した各システムの詳しい内容をご覧ください

